

— 天候に恵まれ最多の観客数となった花火大会 —

8月8日(土)恒例の3自治会連合会(佐鳴台、富塚、入野)主催の佐鳴湖花火大会が7時半から1時間に亘り開催されました。今年は、佐鳴台自治会が全体のまとめ役である総務担当の番でしたが、前日までの悪天候続きと打って変わり朝から上天気にも恵まれて、湖周りを埋め尽くす感じの人出となりました。

開催に先立ち、本年度から佐鳴台地区自治会連合会の会長に就任された中条操氏の挨拶、塩谷文部科学大臣の祝辞があり、「佐鳴湖の浄化と自然環境保全の願いを託して」と銘打った花火大会がスタートしました。その様子の一部を画像でご紹介します。

尚、佐鳴台自治会連合会の前任会長である二橋久雄氏には、当 web「佐鳴の輪」の平成16年の立上げに際して非常なご尽力を頂きましたが、この花火大会直前にお亡くなりになりました。中条会長の挨拶のなかでも触れられましたが、「佐鳴の輪」からもご冥福をお祈りします。



打ち上げ開始30分
前の大会本部
周辺の様子



中条自治会連合会長
と塩谷文科大臣(右)
の挨拶





終了後、大会実行
委員会の皆さんに
よる後片付け



(H21.08 編集子)